

「近畿建設リサイクルシンポジウム」を開催

平成23年2月21日(月)13:15～
建設交流館 8階 グリーンホール

主催:建設副産物対策近畿地方連絡協議会
共催:建設副産物リサイクル広報推進会議 近畿各府県産業廃棄物協会 近畿各府県解体業協会

目的:建設リサイクルに関する関係者の意識向上と連携強化

参加者:建設業者、解体業者、廃棄物処理業者及び発注機関職員(約230名)

プログラム:

○嘉門雅史 香川高等専門学校校長による基調講演
『建設リサイクルと循環型社会』

- ・循環型社会の構築に向けては、個人・企業の取り組みだけでなく、社会の仕組みの改革が必要になる。
- ・建設リサイクルの推進は、リサイクル材の利用拡大に関する取り組み等とともに、継続的な努力が必要



○平成22年度「近畿建設リサイクル表彰」表彰状授与式
「近畿建設リサイクルロゴマーク」賞状授与



○高野昇 (株)日本能率協会総合研究所 取締役による
『建設リサイクルの先端事例と海外情報』

- ・日本の建設リサイクルは他の業界と比較しても進んでおり、世界と比較しても高水準にあり、まさにトップランナーといえる。
- ・今後は、その技術をもって海外進出も視野に入れるべき。

○パネルディスカッション『建設リサイクルの推進に向けて』

パネリスト:小川次郎氏(施工者)、浜野廣美氏(産業廃棄物処理業者)、林里香氏(環境省)、山田優氏(有識者)
コーディネーター:塚田幸広 協議会幹事長(近畿地整企画部長)

- ・建設リサイクル推進のためには、数値や現場を公開する「見える」化を推進することが重要。
- ・質の高いリサイクルを進め、世の中から喜ばれる「建設リサイクル」を目指すべき。
- ・関係者が協力して、循環型社会構築に向けて努力する時期に来ているのではないかと。

受賞者一覧

会長賞 再資源化部門

○大阪ベントナイト事業協同組合

会長賞 施工部門

○日本国土開発(株)大阪支店
京都松尾作業所

奨励賞 再資源化部門(2件)

○(株)I-T-O

○(株)英光産業

奨励賞 施工部門(3件)

○真柄建設(株)大阪支店

○(株)鴻池組・オーバーシーズ・ベクテル・インコーポレーテッド
特定建設工事共同企業体 第二京阪三ツ島東工事事務所

○飛鳥・松田特定建設共同企業体 甲子園浜シールド作業所



【近畿建設リサイクルロゴマーク】

